

## 南丹市営バス 春のダイヤ改正のポイント

- ・美山園部線と五ヶ荘線を統合することで、美山園部線の便数を拡充
  - ※平日の便数を2倍へ、土日の便数も1.5倍へ
  - 月曜日～金曜日 6往復から12往復
  - 土曜日 6往復から9往復
  - 日曜日 4往復から6往復
- ・美山園部線において、覚えやすいパターンダイヤの採用（スクール利用便などを除く）
  - ※例：10：00発の次の便は11：00発など
- ・平日の美山園部線の昼の便を日吉駅止から明治国際医療大学附属病院の玄関乗入に変更し、通院の利便性を向上
- ・平日の京北線の一部を京北病院玄関口まで乗り入れるルートに変更し、通院の利便性を向上
- ・日吉駅で鉄道との乗換時間の短縮
- ・京北線と他路線の接続等を見直し、北桑田高校生の通学に配慮
  - ※日吉駅方面へのアクセスを向上
  - ※土曜日15時台帰宅便の創設
- ・日曜祝日の美山園部線の全便をスプリングスひよし経由とすることで、かやぶきの里からスプリングスひよしへのアクセスを向上
- ・日曜祝日の大野線の起点を和泉から宮脇に延伸し、美山園部線との接続を実現
- ・これまでの火・木のみといった曜日限定の便を無くし、月～金、土、日祝の3パターンとして毎日運行
- ・利用の少ない枝線の一部を車内デマンド方式として無駄を排除
- ・知井線、美山園部線等の平日便の起点を知見口から学校前に変更することで、地域の拠点施設となる知井小学校跡地へのアクセスを向上